

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

千尋の滝

宮浦小 五年 河野 滉生

千尋の滝は、多量の雨が、いく筋もの川となつて硬い岩も削るところがいいです。

滝の速さは速く流れていて岩があり、きけんです。ここは景観にもなつているのできれいな場所です。ほかにもモツチヨム岳の裾の巨大な花こう岩の岩盤を魚文川がきかんで、ここは何だんの滝になつておりきけんです。

百米ートルぐらゐの高さに見えました。

なみの音は、

ザザザザ

と言つている様子でした。

滝の音は、

ザザザザ

と言つている様子でした。

あとまありには木が森があります。

ぼくはいいところだと思ひました。

ここにいくときはおちないようによつと思

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



りました。

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

